

## 市営交通における「ICカード」の導入について

札幌市は、平成20年度のサービス開始を目途に、市営交通（地下鉄、路面電車）で利用いただける「ICカード（仮称STカード）」導入のための具体的な検討を進めます。

### 記

#### 1 ICカードによるサービスの概要

##### (1) プリペイド方式のIC乗車券とIC定期乗車券の発行

事前に運賃を入金するプリペイド方式のIC乗車券及びプリペイド方式のICカードと定期券が一体になったIC定期乗車券を発行いたします。いずれのICカードも、1枚のカードを繰り返し利用することができます。

##### (2) 非接触型の乗車券

ICカードは、地下鉄の改札機や路面電車の車載機に触れるだけで利用いただけます。自動的に運賃が精算されるほか、IC定期乗車券は定期区間を乗り越しても差額分が自動精算されます。

##### (3) IC定期乗車券の再発行

IC定期乗車券は紛失しても再発行が可能な乗車券ですので、安心して利用いただけます。

#### 2 導入予定時期

平成20年度内

#### 3 その他

(1) JR北海道との相互利用サービスの実現と、路線バスとの共通化に向けた検討を進めます。

(2) 電子マネー機能の付加やクレジットカードとの提携に際しては、地域の商業者などとの連携のあり方について検討していきます。

(3) 以上のほか、市民の利便性向上と地域の活性化につながる様々なサービスの可能性について検討していきます。

「ST」は Sapporo City Transportation の略、ICカードの名称については、改めて決定させていただきます。

# 札幌圏のICカード事業について

## 公共交通の利便性向上や利用しやすい料金サービスの実現に向けて...

### 【利用者のメリット】

交通弱者へのバリアフリー

・改札機や運賃箱にカード挿入不要(ケースのままかざすだけ)

混雑緩和

・通過速度が速い(タッチ&ゴー方式によりラッシュ時の混雑緩和)

新たな利用者サービス

- ・ICカードでJR、地下鉄、バス及び道内外広域にシームレスな共通利用が可能
- ・図書カードや施設利用料・証明書発行手数料支払等の行政サービスとの連携が可能(\*)
- ・電子マネーやポイントによる物販サービスや信販系との連携が可能(\*)
- ・公共交通利用者へ(エコポイントなど)の還元が可能

### 【事業者のメリット】

長期的コスト削減

- ・1枚のカードで複数サービス(普通乗車券、定期券、乗継乗車券、1日乗車券等)が可能(\*)
- ・新たな料金サービス機能追加が容易(新たな切符は不要)
- ・IC専用機への移行により機器更新費や保守費の削減が可能(機械式から電波式へ)
- ・ICカード発行費用を事業者間でシェアリング及びデポジット方式の検討  
ウィズユーカードの発行費約4億円(1,100万枚/年)削減

公共交通利用促進

・交通と地域商業の連携により公共交通利用促進が可能(\*)

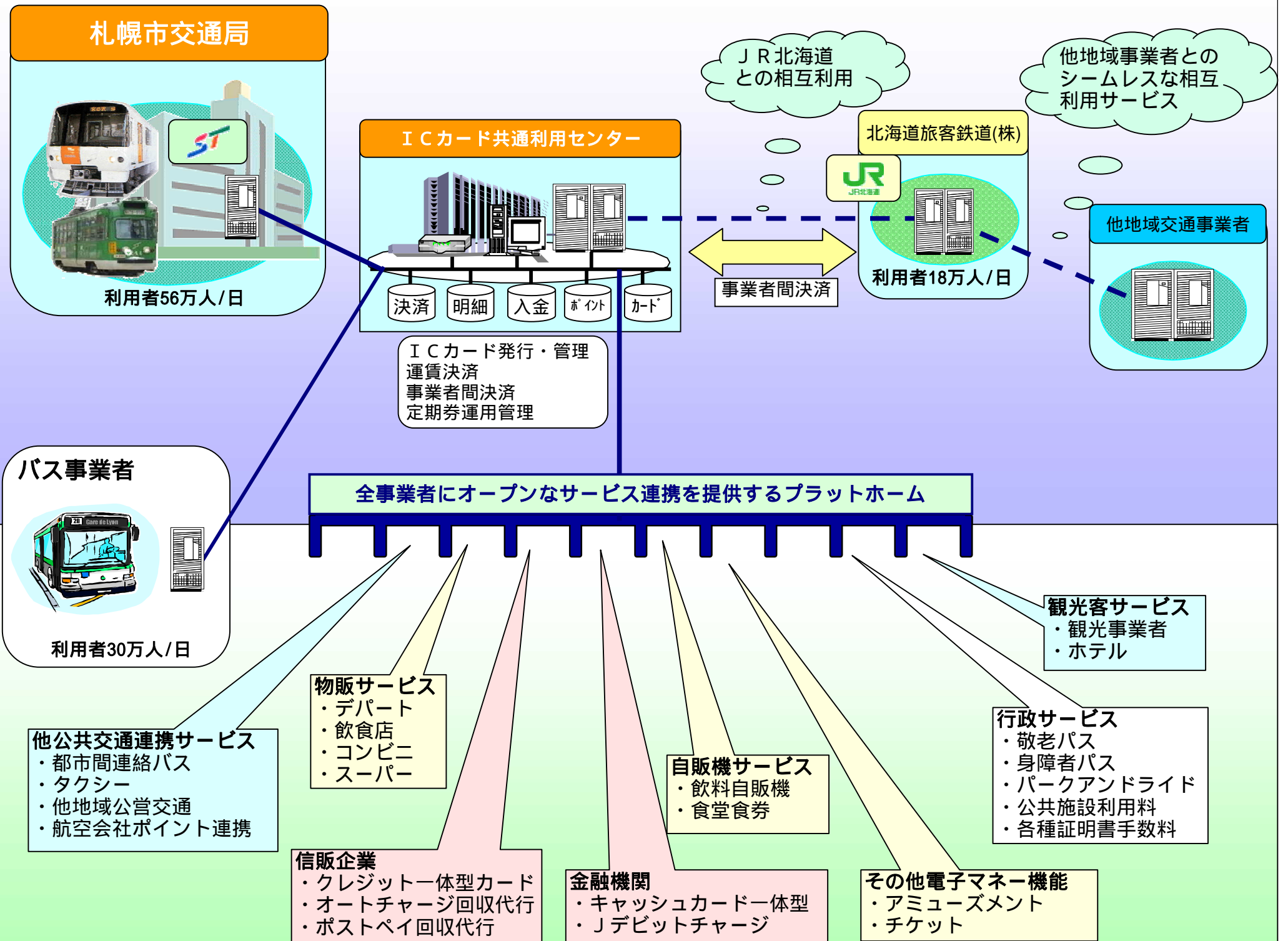
環境負荷低減

- ・使い捨てカードから繰返し使えるICカードへ(環境にやさしいシステム)
- ・電車・バスにおける乗降時間短縮により渋滞緩和(効率的な運行、CO2削減にも貢献)

(\*) 個人情報の保護・管理を徹底

## 共通ICカードの事業化イメージ

### STEP 1 鉄道系事業者を中心とする乗車券システム連携(共通利用)



### STEP 2 多機能化による市民の利便性向上と地域経済の活性化